



昭和46年度指定 高指第23号

(故) 串田 信一

【雅号】 光信 みつのお

生年／大正元年 指定技術名／銅器・彫金



せい

静

この作品は打出しの中でも裏出し技法によるもので、銅版の裏面に模様を写しとり、鑿を使い打出す。さらに、表面からも鑿で模様を作り上げるが、最小限に留めることで表情の柔らかさを表現させる。常に逆肉を想定し造形を繰り返すため、作り上げる造形を的確に把握していなければならない。作品の鼓を持つ女性の姿を柔らかい鑿のタッチで打出し、穏やかな表情を作り上げている。

昭和48年作 素材・技法／銅板・打出し、銀メッキ 寸法／高さ62cm×幅55cm

【表彰・受賞歴】

昭和 5年 日本商工展入選（以後、数回）
昭和25年 富山県美術展金賞（以後、入選・入賞数回）
昭和42年 通産省中小企業庁長官表彰
昭和45年 富山県知事表彰
昭和52年 高岡市市民功労者表彰
昭和60年 卓越した技能者（現代の名工）表彰

【経歴】

昭和 5年 高岡工芸学校彫金科卒業後、富山県工業試験場に奉職
昭和 6年 上京し竹田竹義氏に師事。彫金技術の向上及び脂出法を研究
昭和15年 富山県工業試験場へ再び勤務
昭和41年 高岡金属意匠審議会委員
昭和43年 高岡市特産産業技術者養成スクール講師
昭和44年 献上品雷鳥像製作
昭和46年 退職後、銅器仕上及び彫金全般の自営開業
昭和47年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
昭和49年 「親子三人展」開催（以後、4回）
昭和60年 高岡巧美会会長